

審査会は、審査員と本校スタッフが対話しながら進める形式で行いました。審査の過程で、アイデアの着眼点や独自性、地域との関わり、実現可能性などについて、審査員の方の経験を踏まえた貴重なお話をお聞きすることができ、本校生にとっても良い学びの場となりました。

【 審 査 員 】

相田 隆行 氏（米沢市企画調整部地域振興課）

青木 千尋 氏（米沢市教育委員会社会教育文化課）

二宮 綾音 氏（地域系 YouTuber ・ 青森公立大学1年）

【 講 評 】

- ・ 上位に入賞した作品は、特に独創性という点で他より優れていた。また、アイデアを形にする際には、誰に向けたものなのか？どこでやるのか？など、5W1Hがハッキリしていると良い。ここが曖昧だとアイデアを実行に移すことが難しい。
- ・ 様々な立場の人が一緒に考えることで良いアイデアが生まれる。年代によってニーズも異なるので、中高生が地域の大人にどんどん相談してほしい。
- ・ 若い世代ならではの独創性があったが、詰めが甘いものがあった。ただ、それをなくすのが大人の役割なので、思いついたことを大人に相談してみることが大事。
- ・ 興味を持ったことについて調べたり、考えたりして、それを形として出してくれていてとても良い。これからも、自分が興味を持ったことをどんどん追究して行ってほしい。